

# 救急基金だより

みなさまの善意が「救急基金」を支えています



- 寄贈資器材活用事例紹介
  - ・埼玉西部消防局
  - ・東山梨消防本部
  - ・乙訓消防組合消防本部
- 令和3年度救急基金事業の決算
- 救急基金への寄付について

救急振興財団は、救急救命士制度の発足とともに救急救命士の養成を目的として設立され、平成3年5月の設立以来、23,530名の救急救命士を誕生させるなど、救急体制の充実に貢献しています。

救急振興財団では、救急救命士の現場到着前の市民による応急手当の重要性に鑑み、平成4年度より、皆様からの寄付金を基金として積み立て、各地の消防本部に応急手当講習会で使用する資器材を寄贈するなど、応急手当の普及に役立つ事業を行っています。

救急基金は、応急手当の普及など救急の振興のために活用されます。

一般財団法人 救急振興財団

## 寄贈資器材活用事例紹介

### 埼玉西部消防局

埼玉西部消防局の管轄区域は、埼玉県の南西部に位置する所沢市、飯能市、狭山市、入間市及び日高市です。都心から30km～50kmと利便性に優れ、東京近郊の住宅街となっています。JR東日本や西武鉄道で都心部と結ばれ、高速道路も関越自動車道、首都圏中央連絡道が整備されるなど交通網が発達しており、西部地域に広がる山間地から東端の武蔵野台地へ丘陵地帯が広がる豊かな自然に恵まれた地域です。

平成25年度に広域化により5署14分署、管内人口は約79万人となり、広域化によるスケールメリットを活かし、消防体制の充実強化を図りながら、管内の安全を見守っています。

埼玉西部消防局では、ガイドラインに準拠しながらも、初心者にも分かりやすい簡潔な内容の「応急手当講習用テキスト」を独自に作成するなど、様々な工夫をしながら応急手当講習を行っています。コロナ禍にあっても、一人でも多くの市民へ応急手当を普及するため、「会場のドア・窓を開放し、換気を行う」、「人と人の間隔を2m以上とる」、「手指アルコールを会場に設置する」等の感染症対策を図りながら、救命講習を継続して実施しています。

バイスタンダーによる心肺蘇生を実施したケースと

しては、令和4年2月に体育館で行われた地元小学生ミニバスケットチームの練習中に、12歳の女儿が倒れた際、チームのコーチ、保護者ら5名により119番通報と心肺蘇生、AEDによる2度の電気ショックが行われ、社会復帰を果たした事例がありました。この事例では、救命のリレーが迅速に行われましたが、何よりもAEDを使用できたことが傷病者を救命できたポイントとなり、応急手当に当たった5名には消防局長から感謝状が贈呈されました。

このように応急手当の普及に熱心に取り組まれている埼玉西部消防局の皆様、救急基金に寄付をお寄せいただいた地域の皆様に心より感謝いたします。救急基金から寄贈させていただいた訓練用資器材が応急手当講習の充実のためご活用いただければ幸いです。



## 寄贈資器材活用事例紹介

### 東山梨消防本部

東山梨消防本部は、本州のほぼ中央に位置する甲州市と山梨市の2市により構成され、管轄地域の南部は葡萄や桃等の果樹栽培が盛んな地域です。北東部は秩父多摩甲斐国立公園に属する西沢渓谷や甲武信ヶ岳などを有する自然美豊かで風光明媚な山岳地域となっています。このような土地柄から、一般市民はもとより農林業関係者の応急手当に対する関心は高く、こういった職域の方も積極的に普通救命講習を受講されています。

コロナ禍以前には、毎月2回の定期救命講習として、普通救命講習Ⅰ～Ⅲを主に実施していました。また、管内の各学校に対しては、短時間（約1時間）の講習として救急隊が学校へ赴き、救急講習を実施しています。

コロナ禍となってからは、しばらく救命講習を中断していましたが、多くの市民の要望により、現在はWeb講習を積極的に活用し、少人数かつ人工呼吸の手技を省略した短時間の普通救命講習を「新型コロナウイルス禍における普通救命講習」として実施しています。また、地域のイベントにおいて「消防フェスティバル」と称して、消防車両の展示や、来場者への応急手当の普及啓発活動を行っています。

寄贈資器材は、スマートフォンを用いることによ

り、受講者自身が目で自分の手技の効果を確認できるため、さらに有効な胸骨圧迫のやり方を身に付けることができ、受講者は積極的に実技に取り組まれています。

バイスタンダーによる事案としては、福祉施設で食物を詰まらせ心肺停止時に、周囲に居合わせた職員が応急手当の知識を活用し、迅速な異物除去、心肺蘇生を実施し、救急隊到着時には呼吸が再開し、その後社会復帰したという救急事案がありました。

このように応急手当の普及に積極的に取り組まれている東山梨市消防本部の皆様、救急基金に寄付をお寄せいただいた地域の皆様に心から感謝いたしますとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。



## 乙訓消防組合消防本部

乙訓地域は京都市の南西にあって、大阪府の三島郡に接し、淀川の上流桂川・宇治川・木津川が合流した右岸に位置しており、四季折々の豊かな自然と由緒ある寺社や古墳、長岡京遺跡、城跡など多くの歴史的遺産に恵まれた地域です。

管内には大手メーカーの工場・事業所、高齢者福祉施設、学校・保育所が多く、このような事業者等からの普通救命講習のニーズが多いのが特徴です。講習は現役の救急隊が主に担っており、現場での体験談を交えた受講者が興味をそそられる内容となっています。特に高齢者福祉施設の講習では、高齢者に生じる状況一連を想定し、事案をイメージしやすい講習が行われています。

寄贈資器材は普通救命講習や、団体への貸し出し、消防訓練でのデモンストレーション、患者等搬送乗務員の定期講習等広く普及啓発活動に活用されています。受講者からは、「リアルで臨場感のある実習を経験できた」、「AEDの仕組みがよく分かり、救急車が到着するまでのバイスタンダーによる応急処置・救命処置の重要性を実感した」などの感想が寄せられています。

バイスタンダーによる救命処置の事例として、マラソン大会に参加していた高齢の男性が競技中に突然卒倒し、競技に参加していた別のランナーが胸骨圧迫を

行い、競技運営救護員がAEDを使用したところ、すぐに開眼し会話できる状態になりました。救急隊が現場到着した際には、自発呼吸、脈拍共に安定し、病院へ搬送後、1ヵ月後には機能良好で社会復帰されています。

乙訓消防組合の応急手当普及の取組に敬意を表しますとともに、救急基金に寄付をお寄せいただいた地域の皆様に心より感謝いたします。



## みなさまのご寄付を役立てているもの



皆様から寄せられた寄付金を基金として積み立て、その基金を用いて

- ・心肺蘇生法の実技訓練用の人形（成人・乳児）
- ・AEDトレーナー
- ・応急手当講習テキスト
- ・応急手当講習DVD

などの購入に充てられています。

これらは、各地の消防本部に寄贈され、市民を対象とした救命講習会などで活用されています。



\*過去の救急基金だより（N.O. 1～N.O. 20）につきましては、救急振興財団のホームページ（<https://fasd.jp>）の救急基金の項目の中に掲載しています。

## ■令和3年度救急基金事業の決算（単位：千円）

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
<b>I 事業活動収支の部</b>			
1 事業活動収入			
① 特定資産運用収入	555	555	0
② 寄付金収入	1,000	832	168
事業活動収入計	1,555	1,387	168
2 事業活動支出			
① 事業費支出			
救急基金助成事業費支出	1,632	992	640
事業活動支出計	1,632	992	640
事業活動収支差額	△ 77	395	△ 472
<b>II 投資活動収支の部</b>			
1 投資活動収入			
① 救急基金取崩収入	1,632	992	640
投資活動収入計	1,632	992	640
2 投資活動支出			
① 救急基金取得支出	1,555	1,387	168
投資活動支出計	1,555	1,387	168
投資活動収支差額	77	△ 395	472
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0
※令和3年度末救急基金残高		184,832千円	

## 救急基金へのご協力ありがとうございました

令和3年度は病院、消防本部、法人、個人の方から38件832千円のご寄付をいただきました。

また、救急基金にご協力いただいた次の5消防本部へ応急手当訓練用人形、テキスト等を寄贈いたしました。

- ・ 埼玉西部消防局                      ・ 柏崎市消防本部                      ・ 東山梨消防本部
- ・ 乙訓消防組合消防本部              ・ 田辺市消防本部

### 救急基金への寄付について

救急基金への寄付は、「救急基金箱」への募金や「払込取扱票」による払込みのほか、下記の銀行口座にお振り込みいただくこともできます。皆様のご協力をお願いいたします。

ゆうちょ銀行（9900）〇一九店（019）  
種 別 当座預金                      口座番号 0758214  
口座名義 一般財団法人救急振興財団（救急基金）

りそな銀行（0010）東京公務部（295）  
種 別 普通預金                      口座番号 6103471  
口座名義 一般財団法人救急振興財団 救急基金口

振込手数料は「先方負担」でお振り込みください。  
りそな銀行窓口からりそな銀行の上記口座へ振り込む場合、硬貨入金整理手数料が無料になります。  
（振込みの際、窓口にて「募金を目的とする振込み」である旨お伝え下さい。）



救急基金箱が破損等により使用できない場合などのお問い合わせは下記をお願いいたします。

救急基金だよりNo.21 [編集・発行] 一般財団法人救急振興財団事務局総務課

〒192-0364 東京都八王子市南大沢4-6 ☎ 042-675-9931

<https://fasd.or.jp>

FAX 042-675-9050